

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

2026年7月

大井電気株式会社

2027年3月期 第1四半期 連結業績（前年同期比）

（単位：百万円）

	2026年3月期	2027年3月期	増減	
	第1四半期	第1四半期	百万円	%
売上高	5,251	6,762	+ 1,511	+ 28.8
（情報通信機器製造販売）	3,087	4,535	+ 1,448	+ 46.9
（ネットワーク工事保守）	2,164	2,227	+ 63	+ 2.9
売上総利益	1,188	1,034	△ 154	△ 13.0
営業利益	24	△ 197	△ 221	—
（情報通信機器製造販売）	122	△ 213	△ 336	—
（ネットワーク工事保守）	△ 108	△ 0	+ 108	—
（連結調整等）	10	16	+ 6	—
経常利益	36	△ 218	△ 255	—
親会社に帰属する 四半期純利益	66	△ 233	△ 300	—
1株当たり 四半期純利益	50.52	△ 174.67円	—	—

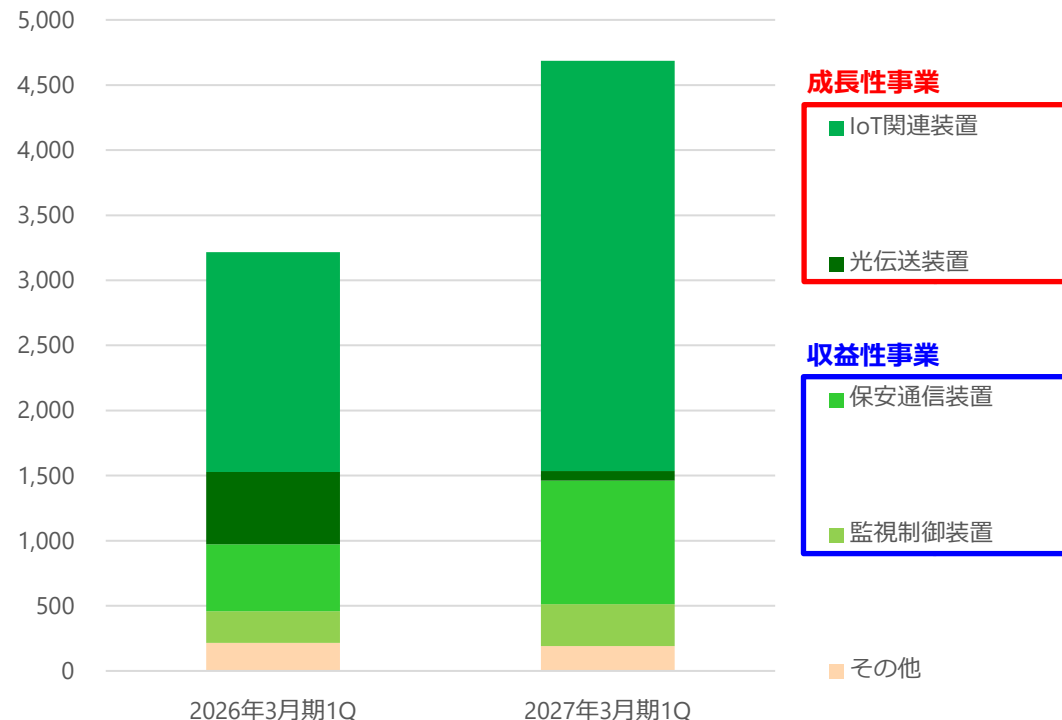
- 売上高**
 情報通信機器製造販売およびネットワーク工事保守における売上増加により、前年同期比28.8%増
- 損 益**
 売上高が増加したものの、機種構成の変動や原材料価格等のコストの増加により、1億97百万円の損失
- セグメント概況**
 （情報通信機器製造販売）
 第2世代スマートメーター向け通信機器を中心にIoT関連装置事業の売上が増加。前年同期比46.9%売上増、2億13百万円の営業損失
 （ネットワーク工事保守）
 通信機器工事事業の売上増および工事単価の見直しにより、前年同期比2.9%の売上増、0百万円の損失

セグメント別売上概況 情報通信機器製造販売

※当第1四半期より大井電気グループ中期経営計画〈2026-2028〉のポートフォリオ分類にあわせた表記に変更しております。

セグメント売上高推移

(単位：百万円)



主な増減要因

第2世代スマートメーター向け通信機器を中心としたIoT関連装置事業の売上が増加しました。一方で損益については生産能力増強費用の増加及び原材料価格の高騰等により、前年同期の利益から損失となりました。

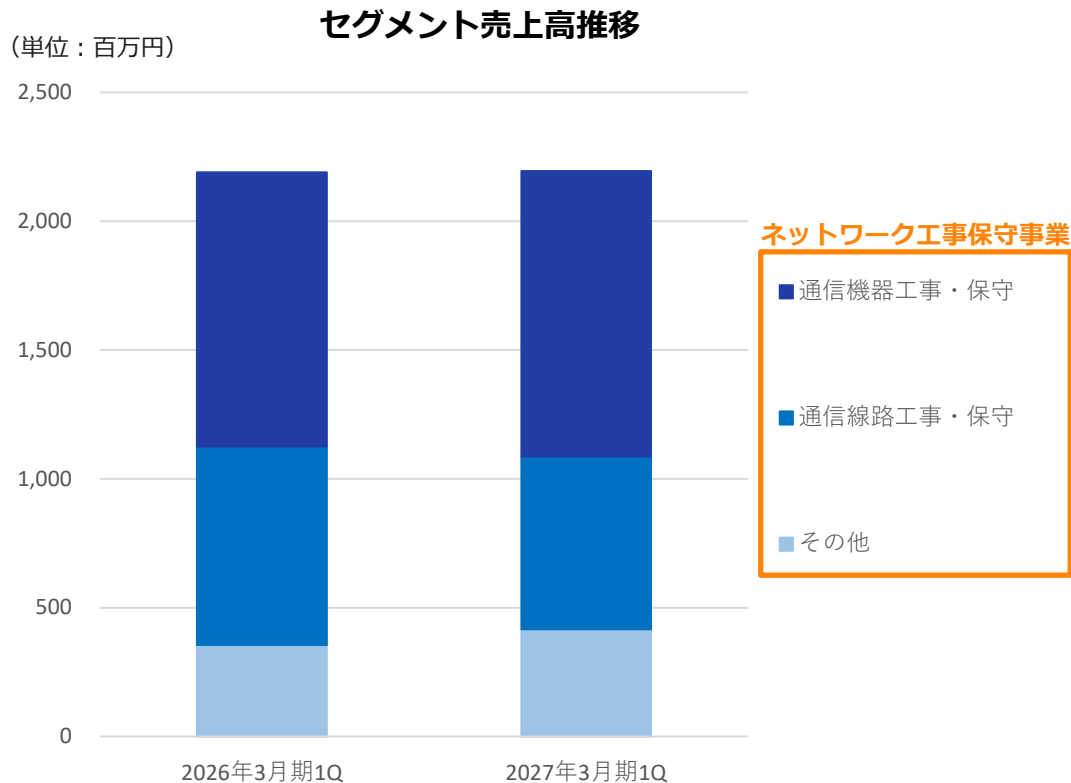
➤ 成長性事業

- IoT関連装置
第2世代スマートメーター向け通信機器の導入が本格化したことによる、売上の大幅な増加
- 光伝送装置
部品調達の遅れ、顧客計画の変更により大幅な売上減少

➤ 収益性事業

- 保安通信装置
堅調な需要により売上の増加
- 監視制御装置
前年同期並みに堅調に推移

セグメント別売上概況 ネットワーク工事保守



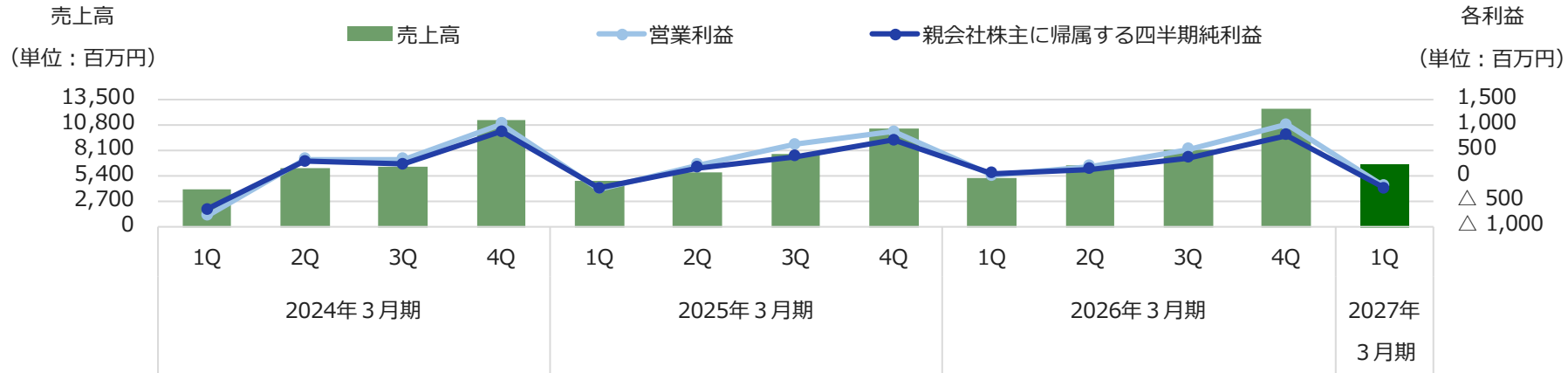
主な増減要因

主に通信機器工事の売上が増加しました。
損益については、工事単価の見直し等により、
前年同期比で損失減となりました。

➤ ネットワーク工事保守事業

- 通信機器工事・保守
主に電力向け工事が増加したため、
前年同期比で増加
- 通信線路工事・保守
安定した需要は継続するものの、
季節的変動により前年同期比で減少
- 情報システム保守・その他工事
新たに情報システムの保守受注があり、
前年同期比で増加

四半期毎の連結業績推移



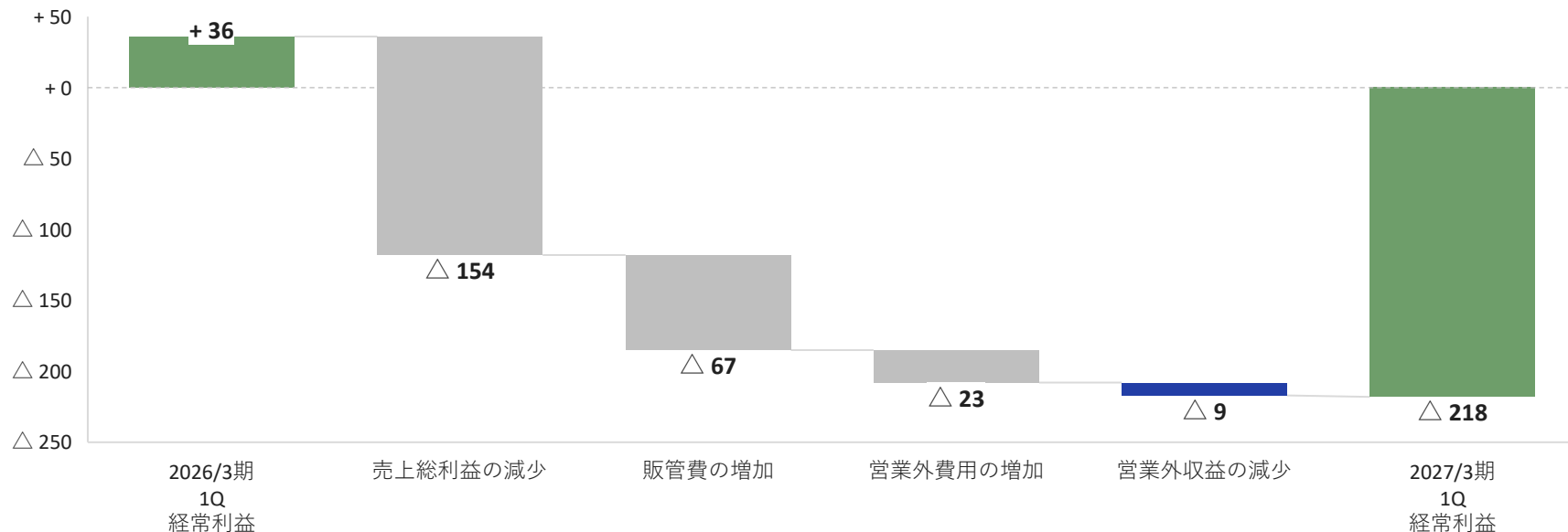
(単位：百万円)

	2024年 3 月期				2025年 3 月期				2026年 3 月期				2027年 3 月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	3,995	6,207	6,475	11,440	4,894	5,882	7,771	10,499	5,251	6,585	8,240	12,633	6,762
営業利益	△ 775	333	334	1,027	△ 247	231	628	872	24	202	526	1,019	△ 197
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 653	298	235	878	△ 231	172	395	713	66	141	362	803	△ 233

2027年3月期 第1四半期 連結経常利益の増減要因（前年同期比）

- ・売上総利益の減少・・・情報通信機器製造販売の売上が増加したものの、原材料価格等のコストが大幅に増加したことによります。
- ・販売及び一般管理費の増加・・・主に光多重伝送装置の開発費および第2世代スマートメーター向け通信機器の出荷量増加に伴う荷造運賃費が増加したことによります。

（単位：百万円）

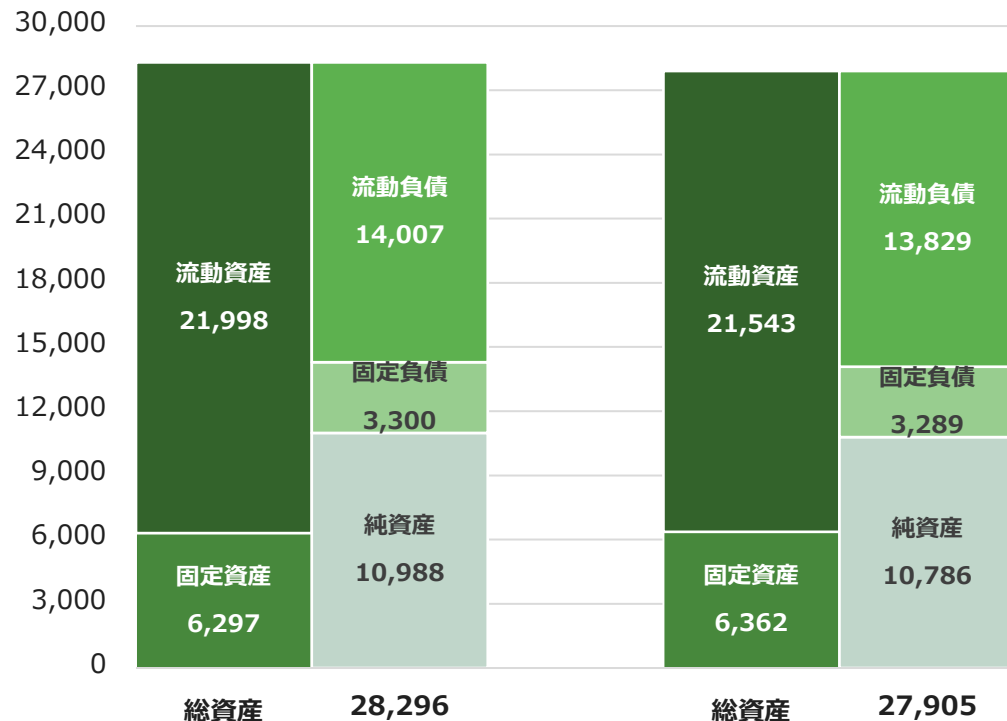


連結貸借対照表

(単位：百万円)

2026年3月末

2026年6月末



主な変動要因

流動資産

- ・ 現金及び預金の増加
- ・ 売掛金の減少
- ・ 材料の増加
- ・ 仕掛品の増加

固定資産

- ・ 投資有価証券の増加

流動負債

- ・ 仕入債務の増加
- ・ 短期借入金の増加
- ・ 未払法人税等の減少
- ・ 賞与引当金の減少

純資産

- ・ 利益剰余金の減少

2027年3月期 連結業績予想

当社は、コーポレート・ガバナンスコードに基づく政策保有株式の見直しを行い資本効率の向上を図ることを目的に、保有する上場有価証券の一部の売却することといたしました。

これにより、投資有価証券売却益を2027年3月期第2四半期（中間期）の連結決算において特別利益として計上する見込みとなったことから、期初に発表しております通期業績予想を修正いたしました。

※詳細は同日開示の「特別利益（投資有価証券売却益）の計上見込み及び2027年3月期第2四半期（中間期）及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

（単位：百万円）

	2026年3月期	2027年3月期（第2四半期）		期初予想比増減		2027年3月期（通期）		期初予想比増減	
	通期実績	期初予想	修正予想	百万円	%	期初予想	修正予想	百万円	%
売上高	32,709	15,800	15,800	+ 0	-	40,200	40,200	+ 0	-
営業利益	1,771	200	200	+ 0	-	1,600	1,600	+ 0	-
経常利益	1,627	180	180	+ 0	-	1,550	1,550	+ 0	-
親会社に帰属する 当期純利益	1,372	△ 50	500	+ 550	-	2,000	2,550	+ 550	27.5
1株当たり 当期純利益	1,032.63円	△ 37.38円	373.79円	—	—	1,495.14円	1,906.34円	—	—

注意事項

本資料には、業績予想などの将来に関する記述が含まれていますが、これらの記述は当社が現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な条件・要素により異なる可能性があります。したがって、本資料はその実現を確約したり、保証したりするものではありません。